

SameKm マニュアル (Ver.2.02)

2012. 5. 4

目 次

1. 概要.....	2
2. 動作環境	2
3. インストール	2
4. アンインストール	3
5. プログラムの起動と終了	3
6. 使用方法	4
7. ローカル PC の設定	6

1. 概要

SameKm とは、1台の PC でキーボードとマウスを操作すると、TCP/IPでLAN接続されている他の PC(最大20台)のキーボードとマウスを、画面上で同期して動かすことができるプログラムです。

2台のPC間では一方通行だけでなく、双方向にキーボードとマウスを同期することも可能です。

あくまで同じ文字を打ったり、同じようにマウスを動かしたりするだけなので、インストールされている Windows やアプリケーション、解像度等が違う PC 間で動作させても、違うアプリケーションが起動するなどの、違う操作になることがあります。

注1) 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】等、他の PC で同じ操作ができないものがあります。

2. 動作環境

OS: WindowsXP、Vista、7

ネットワーク環境: TCP/IPプロトコルでネットワーク接続されていること
(使用するキーボード・マウスはUSBで接続されていても使用できます)

注) 2台以上の PC 間で通信を行う関係上、お使いのファイアウォールプログラムの設定によっては正しく動作しないことがあります。

通常はファイアウォールプログラムが、SameKm のTCP/IPの使用に対して許可を求めてくるので、許可をすれば使用できるようになりますが、ソースネクストの「ウイルスセキュリティ」(試したのはZEROです)の場合は、許可をしても使用できません。「ウイルスセキュリティ」のタスクトレイアイコンで右クリックメニューを表示させ、「すべての機能を無効」を選んで無効にしないと使用できませんでした。設定で個別に SameKm にどう許可を与えてもダメで、右クリックメニューから「ウイルスセキュリティを終了」を選んで、終了させてもダメでした。(このことから、右クリックメニューで終了させても、少なくとも1本以上のウイルスセキュリティのプログラムが動作していることがわかります)

なお、SameKm は複数のTCP及びUDPのポートを使用しています。

3. インストール

ローカル PC(操作するキーボードとマウスが接続されている PC)とリモート PC(ローカル PC のキーボードとマウスで操作される PC)では、違うプログラムをインストールします。

まず、ローカル PC の任意のフォルダに samekm.zip を解凍すると、そのフォルダの下に新しく SameKm フォルダができますので、その中の SameKm.exe を実行してください。(SameKm フォルダ内のファイルは、この説明ファイルを含めて全て残して、削除はしないでください。元の samekm.zip は削除しても構いません)

リモート PC 側の場合は、SameKm フォルダの中にある SameKmR.exe と SK.wav を任意のフォルダにコピーして、それを実行してください。

4. アンインストール

ローカル PC では、SameKm フォルダを、フォルダごと削除してください。

リモート PC では、コピーした SameKmR.exe と SK.way、それに自動的に作成されている SameKmR.ini を削除してください。

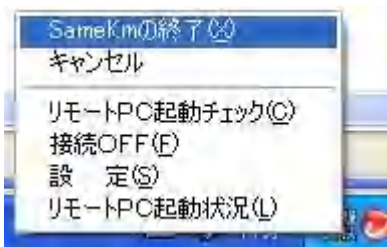
5. プログラムの起動と終了

ローカル PC では SameKm フォルダ中の SameKm.exe を実行します。タスクトレイに SameKm のアイコンが表示されます。



終了するには、タスクトレイ上の SameKm アイコンの上で、マウスを右クリックして、メニューの中の「SameKmの終了(X)」をクリックします。

プログラムの動作を継続させる場合は、メニューの中の「キャンセル」をクリックするか、メニュー以外の場所をクリックしてメニューを閉じます。

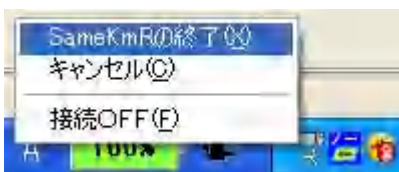


リモート PC ではインストールした SameKmR.exe を実行します。タスクトレイに SameKmR のアイコンが表示されます。



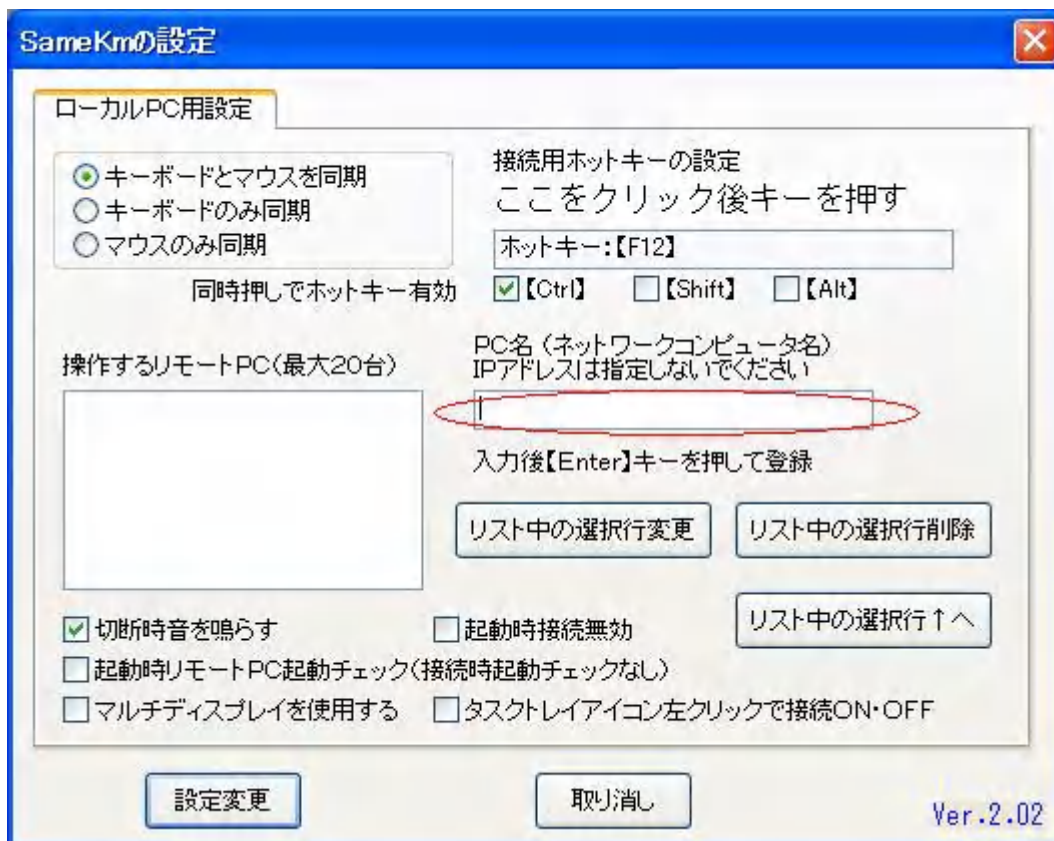
終了するには、タスクトレイ上の SameKmR アイコンの上で、マウスを右クリックして、メニューの中の「SameKmRの終了(X)」をクリックします。

プログラムの動作を継続させる場合は、メニューの中の「キャンセル(C)」をクリックするか、メニュー以外の場所をクリックしてメニューを閉じます。



6. 使用方法

1. 操作したいリモート PC で SameKm を起動させます。
2. 次にローカル PC で SameKm を起動させます。
3. ローカル PC で設定を行います。タスクトレイ上の SameKm アイコンを右クリックしてメニューを表示させ、「設定」を選択して設定画面を出します。（初期設定ではタスクトレイの SameKm アイコンを左クリックしても、設定画面が出ます）そしてリモートPCのPC名を入力します。「設定変更」ボタンを押して設定画面を終了します。



「設定を変更しました」と確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンを押します。

4. 【F12】キー(変更が可能)を押すと、登録したリモート PC 上で SameKmR が起動しているかどうかのチェックが行われた後、ローカル PC とリモート PC が接続され、ローカル PC のキーボードとマウスを操作すると、リモート PC で同じ動きをします。（接続中はそれぞれの PC のタスクトレイアイコンが変化します）



ローカル PC



リモート PC

5. リモートPCの操作を終了する場合は、再度【F12】キーを押します。ローカル PC とリモート PC が切断され、タスクトレイのアイコンが元のアイコンに戻ります。



ローカル PC



リモート PC

※ ローカル PC とリモート PC の双方向で、キーボードとマウスに同じ動きをさせるには、1台の PC でローカル PC 用とリモート PC 用の両方のプログラムを動作させます。両方のプログラムが動作している2台のPC同士で、双方向に同期を取ることができます。（リモートPCを操作できるローカルPCは1台のみです）

※ ローカル PC・リモート PC とも、誤って【F12】キーで接続してしまわないように、一時的に接続を無効にすることができます。無効中は他の PC との接続はできません。

ローカル PC では、タスクトレイアイコン右クリックメニューから「接続 OFF(F)」を選びます。有効に戻すには、タスクトレイアイコン右クリックメニューから「接続 ON(N)」を選びます。(設定により、タスクトレイアイコンを左クリックで無効にすることもできます)

リモート PC では、タスクトレイアイコンを左クリックするか、タスクトレイアイコン右クリックメニューから「接続 OFF(F)」を選びます。有効に戻すには再度タスクトレイアイコンを左クリックするか、タスクトレイアイコン右クリックメニューから「接続 ON(N)」を選びます。



ローカル PC



リモート PC

注1) Vista の初期設定ではUAC(ユーザーアカウント制御)が有効ですが、そのUACが有効の場合は、ローカル PC・リモート PC とも、SameKm(リモート PC の場合は SameKmR)を管理者として実行させてください。

ローカル PC を普通に起動させた場合(管理者として実行させなかった場合で、標準ユーザーとして起動させた場合)、管理者として実行しているアプリケーション上にキー入力のフォーカスがあるとき、ホットキーが効きませんし、通常ユーザーとして起動しているアプリケーション上にフォーカスを移し、ホットキーを押してリモート PC と接続しても、管理者として実行しているアプリケーション上では、マウスのクリックも、キーボードの入力もリモート PC 上では動作しません。

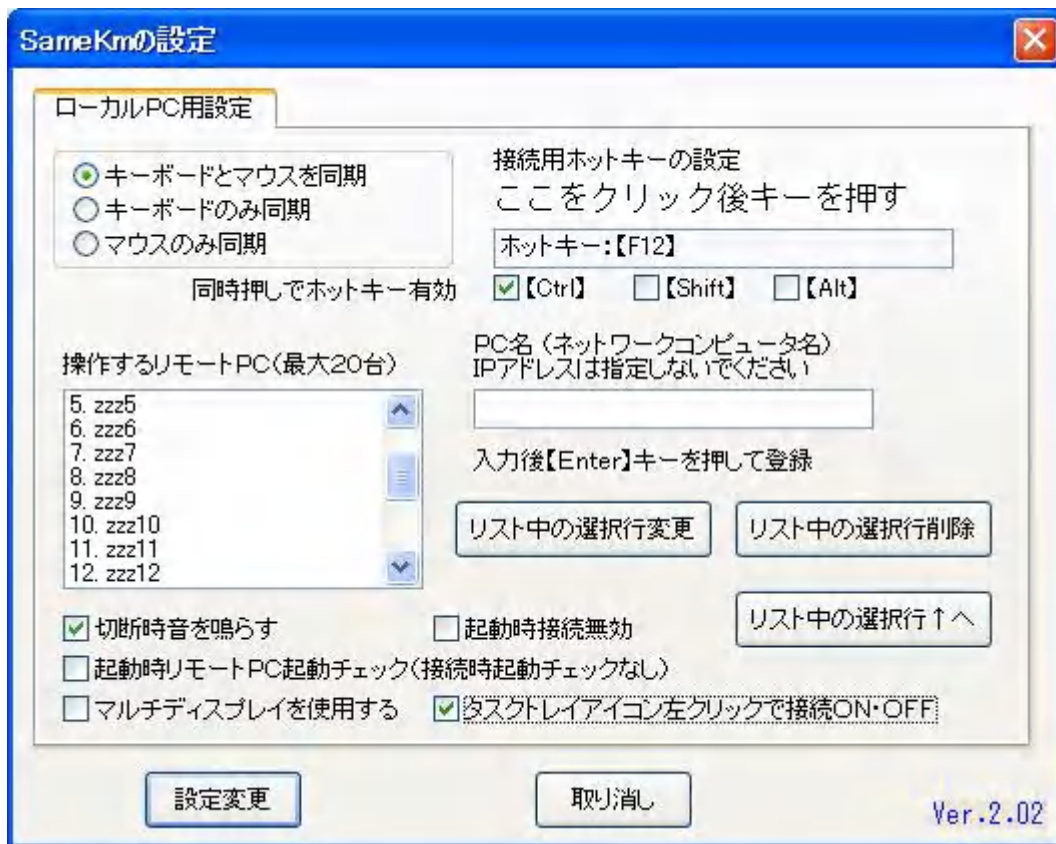
またリモート PC を標準ユーザーとして起動させた場合は、管理者として実行しているアプリケーション上で、ローカル PC 側の操作が効きません。

その他にもUACが有効のときには、管理者として実行させるときに、UACプロンプト(その許可を求めるダイアログ)が表示されますが、UACプロンプト上ではローカル PC 側の操作が効きません。

注2) 通信上のセキュリティを強化するために、ローカル PC とリモート PC で同じパスワードを設定することができます。それには直接、それぞれの INI ファイルをメモ帳等で修正する必要があります。ローカル PC 用、リモート PC 用の INI ファイルは、それぞれ SameKm.ini、SameKmR.ini でそれぞれのプログラムと同じフォルダにあります。INI ファイル中の「PassWord=」にローカル PC とリモート PC で、同じ文字を設定します。お互いのパスワードが同じでなければ、操作することができません。

また使用するポート番号を変更することもできます。INI ファイル中のデフォルト設定は「PortNo=45551」ですが、これを変更することができます。変更はローカル PC、リモート PC とも同じ番号にする必要があります。(「45551」または「45552」がリモート PC で、他のプログラムからすでに使用されている場合も、変更する必要があります。すでに使用中の場合はエラーメッセージが表示されます)

7. ローカル PC の設定



1. キーボードとマウスの両方をどう期さすのか、どちらかのみを同期さすのかの設定
もしキーボードのみ同期さすときは、「キーボードのみ同期」にチェックを付けます。
2. 接続用ホットキーの設定(接続用に使用するキーをホットキーと呼びます)
接続用の【F12】キーを他のキーに変更することができます。
「ここをクリック後キーを押す」の場所をマウスで左クリックして、キー入力フォーカスを移します。
変更したいキーを押します。「ここをクリック後キーを押す」の下にそのキーが表示されます。
3. 同時押しでホットキー有効
ホットキーと【Ctrl】・【Shift】・【Alt】各キーの組み合わせによる同時押しで接続を行いたい場合に、【Ctrl】・【Shift】・【Alt】キーにチェックを付けます。
4. リモート PC 名の登録・修正
チェックを付けると、リモート PC と切断する時に音を鳴らします。
通常切断はローカル PC 側から行いますが、リモート PC 側から切断されることもあります。そのような場合に有用です。
(複数のリモート PC と接続されている場合、1 台のリモート PC から切断されても、他のリモート PC との接続は切れません。すべてのリモート PC から切断されて初めて、ローカル PC は切断状態に戻ります)
5. 起動時接続無効
チェックを付けると、リモート PC との接続を無効にした状態で、SameKm が起動します。

6. 起動時リモート PC 起動チェック(接続時起動チェックなし)
チェックがないときには、ホットキーでリモート PC と接続するたびに、リモート PC の起動チェックが行われます。
チェックを付けると、SameKm 起動時にリモート PC で SameKm が起動しているかどうかチェックします。
リモート PC と接続するときには起動チェックを行わないので、起動チェックをした後にリモート PC が起動されると、そのリモート PC とは接続できません。そのようなときには、タスクトレイアイコン右クリックメニューから「リモート PC 起動チェック」を強制的に行ってから、接続してください。
リモート PC で SameKm を起動させたままにするときには、一度しかチェックをしないので有用です。
7. マルチディスプレイを使用する
ローカル PC でマルチディスプレイを使用しているときチェックを付けてください。
8. タスクトレイアイコン左クリックで接続 ON・OFF
チェックを付けると、リモート PC と同様に、SameKm のタスクトレイアイコンのマウス左クリックで、接続の有効・無効を切り替えることができます。
チェックのないときには、タスクトレイアイコン左クリックで設定画面が表示されます。